

NPO 法人がんサーネットジャパン (CNJ) 2008 年度事業報告 (2008 年 4 月～2009 年 3 月)



CancerNet Japan

がんサーネットジャパンにできること



2009

<http://www.cancernet.jp/>

NPO 法人がんサーネットジャパン
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-2-7 お茶の水サニービル 5 階
電話：03-5840-6072 ファックス：03-5840-6073
文責：事務局長：柳澤昭浩 (E-mail:samurai@cancernet.jp)

NPO 法人がんサーネットジャパン ホームページ：<http://www.cancernet.jp/>
NPO 法人がんサーネットジャパン 公式ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/cancernet_japan

NPO 法人キャンサーネットジャパン (CNJ)

2008 年度事業報告 (2008 年 4 月~2009 年 3 月)

【CNJ の沿革】

【CNJ の mission と vision】

【CNJ 組織概要】

【CNJ の主要事業】

【サポーター団体・企業】

【2008 年度決算報告書】

私たち NPO 法人キャンサーネットジャパンの活動は、私たちの mission・vision、活動に賛同頂ける個人様・団体様・企業様のご寄付によって運営されています。

NPO 法人キャンサーネットジャパンの活動・事業に、ご理解、ご賛同頂けましたら、是非広く皆様のご寄付を賜りたく、ここに謹んでお願い申し上げます。

また同時に、私たちの活動をご支援頂ける個人様・団体様の会員も募集しております。私たちの活動にご関心のある個人様・団体様のご入会も併せてお願い申し上げます。

ご寄付の申込み：<http://www.cancernet.jp/donation.php>

ご入会の申込み：<http://www.cancernet.jp/joinus.php>

ご寄付・ご入会のお申込がウェブからも可能になります (2009 年 7 月 1 日以降を予定)

<http://cnj.open365.jp/>

【CNJ の沿革】

1991年6月、南雲 吉則（前代表・現顧問）、吉田 和彦（現理事長）が、米国国立衛生研究所発行の乳がん患者向けパンフレットを翻訳自費出版し無料配布を開始したのが当団体の始まりです。当時は、インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンという言葉すら一般的でなかった日本において、がん（乳がん）患者自らが、科学的根拠に基づく、正確な知識・情報を得られる書籍はなく、先駆的活動として注目されました。翌1992年には、それら10冊の冊子をまとめた書籍「あなたと乳がん」を出版し、全国に無償配布しました。その後、「乳がんの発見」（祥伝社刊）などの書籍を出版・販売開始しました。

それらの出版の収益を元に、米国国立がん研究所が提供するNCI PDQ日本語訳のファックスでの提供（キャンサーファックス）、電話・ファックス・メールでのボランティア医療者によるがん医療相談（セカンドオピニオンコール）、インターネット上におけるNCI PDQの公開など新たな活動も開始しました。また、2000年には、現在の主要事業の一つである患者・一般の方を対象とした「EBM セミナー」を開始しました。

2001年8月には、東京都よりNPO（特定非営利活動法人）の認証を取得し、翌2002年には私たちのホームページが日経インターネットアワードを受賞するに至りました。

その後、日本におけるがん医療環境の変化を鑑み、十分な情報がない中、科学的根拠に基づく正確な情報を発信する事から、今後は、増え続ける情報の中、科学的根拠に基づく正確な情報へ繋げることが私たちの使命・役割とし、2007年1月よりミッション・ビジョンを新たにし、東京御茶ノ水に事務局を開設、専属スタッフにより新生キャンサーネットジャパンとしての活動を開始しました。

【CNJ の mission と vision】

・ CNJ の Mission (<http://www.cancernet.jp/mission.php>)

私達のミッション（使命）は、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう、患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信を行うことです。

・ CNJ の Vision (<http://www.cancernet.jp/vision.php>)

私達のビジョン（夢）は、がん体験者・家族・遺族、その支援者、医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会を実現することです。

【CNJ 組織概要】

・ 理事

理事長：吉田 和彦（東京慈恵会医科大学青戸病院 教授・副院長・診療部長）

理事：岩瀬 哲（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 副部長）

理事：柳澤 昭浩（事務局長・事業戦略担当）

理事：川上 祥子（広報・教育事業担当）

理事：内田 絵子（NPO 法人ブーゲンビリア理事長）

監事：小西 敏郎（NTT 東日本関東病院 副院長）

・ 顧問

代表顧問：南雲 吉則（ナグモクリニック総院長）

・ 事務局専属スタッフ

事務局長・事業戦略担当：柳澤 昭浩

広報・教育事業担当：川上 祥子

教育事業・イベント担当：藤原 麻子

事務局運営・イベント担当：高田 陽子

特別プログラム担当：小林 智江

・アドバイザーボード代表
西條 長宏（近畿大学医学部腫瘍内科教授）

・アドバイザーボードメンバー

有吉 寛（愛知県がんセンター愛知病院）
梅田 恵（株式会社緩和ケアパートナーズ）
後藤 悌（東京大学）
滝口 裕一（千葉大学医学部）
坪井 正博（東京医科大学）
藤原 恵一（埼玉医科大学）
渡辺 古志郎（横浜市立横浜市民病院）
Robert L.Coleman（M.D Anderson Cancer Center）

青谷 恵利子（北里研究所）
勝俣 範之（国立がんセンター中央病院）
小西 敏郎（NTT 東日本関東病院）
円谷 彰（神奈川県立がんセンター）
野村 久祥（杏林大学）
向井 博文（国立がんセンター東病院）

【CNJの主要事業】

CNJのミッションに基づき、ビジョンの実現に向けて、「知る」、「学ぶ」、「集う」をコンセプトに、主たる3事業を展開しています。このコンセプトは、科学的根拠に基づく正しい情報が重要である事を普及啓発し、これを実施する人材を養成し、更にそれらの人材が活躍でき、患者・家族・一般の方々が利用できる場を提供するというものです。

上記3事業に加え、これらを加速させる活動、医療政策提言、他団体・企業との連携も積極的に行っています。

- 「知る」：科学的根拠に基づくがん医療情報の普及・啓発事業
- ・CNJがん医療セミナー（<http://www.cancernet.jp/eve.html>）

CNJでは、CNJ主催、他団体との共催、学会等の委託を受け、がん種別テーマ別に、様々なイベント・セミナーを開催しています。

CNJがん医療セミナーの基本コンセプトは、より多くの方々が最良のがん医療にたどり着くために、患者・家族・一般の方々だけでなく、医療者、関連企業、報道関係者等との情報・問題の共有が重要と考えており、どのような立場の方にもご参加頂ける公開（オープン）セミナーとしています。

2008年度は、首都圏を中心に、16回に及ぶがん医療に関するセミナーを開催しました。2008年度の開催セミナーは、以下の通りです。



<CNJ主催イベント>

	タイトル	開催場所
08/6/22	もっと知ってほしい放射線治療のこと 中川 恵一・滝口 裕一・本田 麻由美・小坂橋 律子 他	東京ウィメンズプラザ
08/7/27	もっと知って欲しい「がん医療を支えるコ・メディカル」 江口 研二・野村 久祥・桜井 なおみ 他	東京ウィメンズプラザ
08/10/26	もっと知ってほしい緩和ケアのこと 中川 恵一・行田 泰明・宮田 広樹・梅田 恵・川崎 優子 他	東京ウィメンズプラザ
08/11/2	もっと知ってほしい乳がんのこと 土井 卓子・清水 哲・関口 健次・行田 泰明・向井 博文 他	浜離宮朝日ホール
08/12/14	もっと知ってほしい泌尿器がんのこと 赤座 英之・河合 弘二・市川 智彦・宮永 直人・堀江 重郎	東京ウィメンズプラザ

<CNJ コーディネート共催セミナー>

08/5/18	もっと知ってほしい乳がんのこと in 大阪 稲治 英生・高塚 雄一・大谷 彰一郎・松本 光史・松井 正典 他	大阪国際交流センター
08/8/10	もっと知ってほしい女性のがん 藤原 恵一・青木 大輔・伊藤 潔・町 亞聖・片木 美穂 他	東京国際フォーラム
08/9/7	がん患者の就労に関するシンポジウム 桜井なおみ・後藤 悌・山本 尚子・吉田 直子 他	東京ウィメンズプラザ
08/11/16	もっと知ってほしいすい臓がんのこと 羽鳥 隆・奥坂 拓氏・服部 政治・小崎 丈太郎 他	東京ウィメンズプラザ
09/2/8	もっと知ってほしい「がん患者が直面する就労の問題」 桜井なおみ・後藤 悌・安田 洋一・豊嶋 道子・永江 美保子他	東京ウィメンズプラザ
09/3/8	知っていますか？ワクチン・ドラッグ「ラグ」 小野 俊介・眞島 喜幸・高畑 紀一・片木 美穂子・村上 紀子	東京ウィメンズプラザ
09/3/14	パープルリボンキャラバン 2009 in 広島 花田 敬士・村上 義昭・奥坂 拓士・中川 圭 他	広島国際会議場
09/3/19	Dr.Abrahm セミナー：日米のがん医療を考える Dr.Abrahm・有吉 寛・新明 裕子 他	ウィル愛知
09/3/29	インターネットを使ってがん情報はこうやって探す 大橋 靖雄・北川 洋・後藤 悌・桜井 なおみ・武原 信正	東京大学鉄門講堂

<運営受託セミナー>

09/1/25	オレンジバルーンプロジェクト市民公開シンポジウム がんになったら「緩和ケア」	東京国際交流会館
09/2/4	世界対がんデー公開シンポジウム 子宮頸がん制圧を目指して	東京大学安田講堂

・ CNJ がん情報ビデオライブラリー (<http://www.cancernet.jp/video/>)

CNJは、メディアサイト株式会社支援・協力のもと、全国どこからでも、インターネット環境下であれば、「必要な情報を」、「必要な時に」、「必要なだけ」得る事ができる「CNJ がん情報ビデオライブラリー」を開設しました。

2008年11月開設以来、半年で10,000を超える再生数となり、がん患者、家族、医療者など多くの方々に利用頂くサイトとなり、現在も首都圏で開催されるCNJ がん医療セミナーの他、様々なコンテンツを公開しています。



■ 「学ぶ」科学的根拠に基づいたがん医療情報を提供する人材養成教育事業

2007年6月15日に閣議決定された「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指すこととする。」と言及されています。すなわち、これまで行政、医療者主体で進められてきた「がん対策推進」に、がん患者を含めた国民他、様々な立場の団体・関係者が関与するよう求められています。

今後、がん患者・家族のニーズに応じた「がん医療対策」を進める上においても、また実際に、がん患者・家族が求め、提供されるべき医療情報・サービスを提供するためにも、医療者のみならず、「がん対策推進」に関する者が、「各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報」等についての知識を有する事は必要最低限の要件となると思われます。

このような背景より、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、「がん医療対策推進」に関する者（関わろうとする者）、またこれまでの活動背景より、自身の体験をもとに乳がん領域で関わりを持つ者（持とうとする者）を対象に、科学的根拠に基づいた良質で、信頼性の高いがん医療情報を理解し、またその時々の最新のがん医療情報にアクセスし、かつそれらの医療情報を患者の言葉に換える事のできる「認定がん情報ナビゲーター（CIN）」、「乳がん体験者コーディネーター（BEC）」の人材養成講座を開講しています。

また、2008 年は、CIN、BEC 養成講座の他、がんの体験、経験から全国各地で活躍するピア・サポーター他、がん医療に関与する方向けの「がん医療研修プログラム」も開始致しました。

・乳がん体験者コーディネーター養成講座 (<http://www.cancernet.jp/bec.html>)

自分自身の「がん」の体験を活かし、社会に貢献したい人達がいいます。また、わたしたちは、そのような人材が日本のがん医療を、社会を変える力があることを信じています。

日本女性罹患数第一位の乳がん。その予防・診断・治療の進歩は目覚しく、自身の体験だけでなく、患者の気持ちを理解しながらも、その時々の最良の情報を知ることが重要です。

この養成講座は、日本の乳がん領域を代表する現役医療者を始めとした講師陣によるプログラムです。

・がん情報ナビゲーター養成講座 (<http://www.cancernet.jp/cin.html>)

今や、「がん」と診断された多くの患者の情報源は、インターネットと言われています。しかし、インターネットを利用したがん情報の収集は大きな危険性をはらんでいます。これは医療者にとっても同じです。

この講座は、各領域を代表する医師を始めとした講師陣による講義に加え、いかに信頼性の高い情報にたどり着くかを学びます。

2009 年 7 月から開講される第 5 期からは、この講座の教育的意義を考慮し、より多くの方の受講を可能とするため、「オンデマンド・ウェブ・ラーニング・システム」を用いた、インターネット環境下であれば「日本を代表する講師陣」による、「いつでも」、「どこでも」を実現する養成講座として開講予定です。

また、第 5 期からは、本養成講座のプログラムアドバイザーに西條 長宏先生（近畿大学医学部腫瘍内科 教授）を迎え、これまでになかった新しいコンテンツも含め、領域を代表する医療者による、がん医療に関わる職種・立場を問わず受講可能な類を見ない養成講座とする予定です。

・がん医療研修プログラム

「*今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等が一体となってがん対策に取り組み*」とがん対策推進基本計画にあるように、CNJ では、これらの異なるステークホルダーが協業するため、がん医療に関する各種研修プログラムを提供しています。

ここ 2 年にわたる CIN（がん情報ナビゲーター）、BEC（乳がん体験者コーディネーター）養成講座の研修運営ノウハウから、がん医療に関わる様々な要望に応えるプログラムを提供しています。

2008 年度、複数の都道府県、企業の要請のもとピア・サポーター研修プログラム、がん医療関連企業向け社員研修プログラムを開催、実施致しました。

■「集う」科学的根拠に基づくがん医療情報を提供するがん情報ステーション事業・がん啓発草の根活動

・がん情報ステーション (<http://www.cancernet.jp/ganst.html>)

CIN・BEC 養成講座修了者を中心に、科学的根拠に基づくがん患者・家族に必要な医療情報が提供できる場所「CNJ がん情報ステーション」の試行を開始しました。がん看護専門看護師：梅田 恵氏に医療監修を頂き、多くの方々に利用頂ける本格稼働に向けて鋭意準備中です。

「CNJ がん情報ステーション」のコンテンツは、医療者の指導の下、BEC・CIN が「がん医療情報」

に関する勉強会等を提供し、がん患者・家族にとって有益な情報を、インターネット、既存の有益な書籍・冊子などを通じ提供できる場所にする予定です。

・草の根がん啓発活動 (<http://www.cancernet.jp/kusanone.html>)

地域の公共施設や、法人・団体等とタイアップし、一般の方に「がんを知ってもらう」ことを目的として、BEC（乳がん体験者コーディネーター）や、CIN（がん情報ナビゲーター）が中心に、講演会・勉強会等を行い、草の根的な普及啓発活動を行なっていました。

■ ミッションに基づく他団体、他企業との協業

・財団法人先端医療振興財団 (<http://www.ibri-kobe.org/>)

財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センターが公開・提供する「がん情報サイト」の普及のための業務提携「がん情報サイト」(<http://cancerinfo.tri-kobe.org/>)

・財団法人パブリックヘルスリサーチセンター (<http://www.phrf.jp/jpop/>)

財団法人パブリックヘルスリサーチセンターが公開・提供する患者・家族・医療者向けの Website への作成協力 (<http://jpop-voice.jp/cancerpain/index.html>)

■ 新たな取組み

NPO 法人キャンサーネットジャパンは、信頼ある他団体、組織、支援者らと共に、新たな取組みも始めています。

・ティール&ホワイトリボンプロジェクト (<http://www.子宮頸がん.net/>)

近年若年者の増加傾向にあり、その予防、検診の有用性が高い子宮頸がんの疾患啓発のため、「ティール&ホワイトリボン」をフラッグシップに、この領域で活躍する患者団体、支援団体と共に、ティール&ホワイトリボンキャンペーンを開始しました。

同キャンペーンは、2009年4月一般社団法人「ティール&ホワイトリボンプロジェクト」により推進されます。

・がん情報.net (<http://www.がん情報.net/>)

インターネット上における「がん医療情報」は玉石混交であり、がんと診断された患者、家族が科学的根拠に基づく正しい情報にたどりつくことが困難です。

このような問題を解決するため、東京大学医療政策人材養成講座4期生：後藤班のメンバーである医療者、メディア関係者、医療政策者と共に、「がん情報.net」開設に向けて取り組みを開始しました。

・CSRプロジェクト (<http://cancernet.jp/csr/index.html>)

がん患者の3人に1人が、がん罹患後に何らかの形で、それまでの職を失うという現状が明らかになりました（東京大学医療政策人材養成講座4期生：桜井班調査）。

このような問題を広く社会に訴え、就労世代のがん患者にとって、働きやすい環境となるよう、東京大学医療政策人材養成講座4期生：桜井班メンバーを中心に、CSR（Cancer Survivor Recruiting）プロジェクトに参画しています。

【サポーター団体・企業】

NPO 法人の活動は、その法人のミッションとビジョンに賛同を頂いた企業様/団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。以下のリストは、NPO 法人がんサーネットジャパンにご寄付頂いている企業様/団体様一覧です。また、スペシャルサポーターとは、非金銭的援助を頂いている企業様/団体様です。これらの企業様/団体様に感謝申し上げます。

プラチナサポーター

日本イーライリリー株式会社

スペシャルサポーター

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）

株式会社日本医療事務センター

メディアサイト株式会社

ゴールドサポーター

万有製薬株式会社 ヤンセンファーマ株式会社

シルバーサポーター

アストラゼネカ株式会社 エスティ・ローダー株式会社

エレクトラ株式会社 大鵬薬品工業株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社 塩野義製薬株式会社

中外製薬株式会社 日本化薬株式会社 バイエル薬品株式会社

ブロンズサポーター

大日本住友製薬 エイパックスメディカル株式会社 サノフィ・アベンティス株式会社

米国研究製薬工業協会 株式会社ヤクルト本社

サポーターズ

株式会社アン 株式会社 Kanom 協和発酵キリン株式会社 QOL 研究所

サノフィパスツール第一三共ワクチン株式会社 J-CRSU（日本臨床試験支援ユニット）

帝国製薬株式会社テルモ株式会社 日本新薬株式会社 日本製薬工業協会

ノバルティスファーマ株式会社 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター ファイザー株式会社

ブリストルマイヤーズ株式会社 メドー産業株式会社 ライフサイエンス出版株式会社

Reborn リボンの会 ワイス株式会社

決 算 報 告 書

(第 8 期)

自 平成 20 年 4 月 1 日

至 平成 21 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

東京都品川区大崎一丁目 1 1 番 2 号
ゲートシティ大崎イーストタワー 1 階

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

貸借対照表

平成 21 年 3 月 31 日 現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	【 16,776,290 】	【 流 動 負 債 】	【 12,051,671 】
現 金	210,828	未 払 金	1,058,629
預 金	13,006,038	前 受 金	3,822,000
前 払 費 用	549,195	預 り 金	457,142
未 収 入 金	3,010,229	未 払 法 人 税 等	1,544,900
【 固 定 資 産 】	【 2,363,271 】	仮 受 金	5,169,000
(有 形 固 定 資 産)	(504,129)	負 債 合 計	12,051,671
工 具 器 具 備 品	504,129	純 資 産 の 部	
(無 形 固 定 資 産)	(1,695,142)	【 株 主 資 本 】	【 7,087,890 】
ソ フ ト ウ ェ ア	1,695,142	(利 益 剰 余 金)	(7,087,890)
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(164,000)	[そ の 他 利 益 剰 余 金]	[7,087,890]
敷 金	164,000	繰 越 利 益 剰 余 金	7,087,890
		純 資 産 合 計	7,087,890
資 産 合 計	19,139,561	負 債 ・ 純 資 産 合 計	19,139,561

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

損益計算書

自 平成 20 年 4 月 1 日

至 平成 21 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
寄 附 金 収 入	14,693,220	
公 益 事 業 売 上 高	23,851,247	
収 益 事 業 売 上 高	24,410,596	62,955,063
売 上 総 利 益		62,955,063
【販売費及び一般管理費】		62,138,193
営 業 利 益		816,870
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息		7,090
【 営 業 外 費 用 】		
保 証 料 償 却 費		64,575
経 常 利 益		759,385
税 引 前 当 期 純 利 益		759,385
法 人 税 等		1,544,900
当 期 純 損 失		▲785,515

We are always beside YOU.

【寄付・入会案内】

NPO法人キャンサーネットジャパンの各種イベント・プログラムといった活動は、個人様・団体様からのご寄付、各種助成金で運営されています。

日本においては、このような活動に対する寄付文化、寄付に対する税制優遇制度も十分ではなく、その他のNPO法人同様に厳しい環境ではありますが、多くの方々の支援を頂き、活動しています。

このような環境の日本で、私たちは寄付金、助成金だけに頼ることなく、私たちが持つがん体験者・支援者という人材、これまでの活動のノウハウといったリソースで、その活動領域において、自主財源を確保する様々な事業も行い、自立したNPO法人になれるよう努力していきます。

がん患者が直面する体・心・社会の問題を解決すべく、CNJのミッションを実現するため、「皆さんが持てるもの」、「皆さんができること」から、多くの皆様のご理解、ご支援、ご寄付を賜りたく、お願い申し上げます。

【会員入会】

NPO法人キャンサーネットジャパンの活動にご協力、ご支援を希望する方には、原則、入会をお願いしています。入会申し込みは、下記URLからお願いします。

<http://www.cancernet.jp/nyuukai.html>

【個人・団体寄付申込】

個人様・団体様からのご寄付は、随時受け付けております。寄付に関する詳細、申込用紙は下記のURLからお願いします。（注：科学的根拠に基づくがん医療への貢献という観点、CNJの運営ポリシーから、ご寄付をお断りする場合もありますが、ご了承下さい）

<http://www.cancernet.jp/kifu.html>

【その他の活動に対するお問い合わせ】

本冊子で紹介した活動・事業以外にも、様々な方々を対象に、がん医療関連のセミナー・イベントプランニング事業、がん医療関係者への研修事業なども行っています。

これらも含めご興味のある方、お問い合わせのある方は、info@cancernet.jp までお知らせ下さい。